

## 中高一貫校の特色ある教育とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 驚くべきことが高校野球の甲子園大会で起こっています。なんと栃木県の2校、佐野日大高校と白鷗大学足利高校に続いて、隣の街にある桐生第一高校が甲子園で1回戦を勝ち抜き、2回戦で頑張っています。これは素晴らしいことだと思います。このように佐野市・足利市・桐生市と隣接する3市の高校が揃って甲子園に出場し、2回戦まで進んで大活躍していることは、高校野球の歴史上でもあまりないことです。放送をお聴きの皆さんも、この素晴らしい出来事をぜひ覚えていただきたいと思います。
3. さて、近年は公立の中高一貫校がさかんに開校していますので、今日はそれについて少しお話をさせていただきます。昨日3月28日(金)の朝日新聞の栃木版には素晴らしい記事が出ていました。「中高一貫校の今」という記事です。全国には450校の中高一貫校があり、その4割が公立の学校です。栃木県内には、宇都宮東高校とその附属中学校・矢板東高校とその附属中学校・佐野高校とその附属中学校、これら3つの公立中高一貫校があります。記事には、それらの中高一貫校が非常に特色を持って教育を行っているとのありましたので、紹介させていただきます。  
3つの公立中高一貫校を卒業した方のほとんどは大学に進学するようですが、3つの中高一貫校では何のために大学に行くのか・大学卒業後はどのような人生を歩むのかを考えることを含めて素晴らしい教育が行われています。
4. 最近、私には危惧することがあります。先週もお話したように、有名大学でエリート教育を受ける方がとても多いですが、エリートとは何か・大学に行って何を勉強するのかなどについて気にすることなく高校時代を過ごしてしまう高校生があまりにも多く、その結果、大学に入学してから自分を見失ってしまい、5月ぐらいになるとボーッとしてしまう人がいることです。また、近年は大学が単位の評価に厳格になり、授業にあまり出席しなかったり、定期のテストできちんとした成績が取れなかったり、実験の結果やレポートなどを提出しなかったりすると単位を認めないために、留年となる人がいることです。1回の留年ぐらいなら問題はありますが、何回か留年すると卒業できません。そのような状況がたくさんあるようですが、それではあまりにも勿体ないと思います。

5. 毎日をボーッと過ごして何のために大学に入ったのかわからないという状況であると、次はどんな職業に就いたらよいかかわからない・どんな人生を送ったらよいかかわからないということになり、自分を見失ってしまいます。この傾向は、入学するのが難しい大学、具体的には偏差値の高い大学の学生さんにも見られます。この結果、就職しても長続きせず、2～3年で辞めてしまう人も何割かいます。
6. ですから私は、小学校・中学校・高校で学ぶ間に自分自身を見つめ直す教育、高校卒業後に社会に出たり大学に進学したりしたときに自分はどのようなことをしたいのかを考える教育をもっともって行ったほうがよいと思います。
7. このような点で、栃木県に3つある公立中高一貫校はそれぞれの特色を出しながら、大学に進学したあと・大学を卒業したあとのことまで考えて熱心にやっていると言えると思います。
8. また、栃木県内には私立の中高一貫校もたくさんあり、それぞれが特色のある教育をしています。中学校と高校の6年間を通して一貫した教育を行う公立と私立の中高一貫校が切磋琢磨し合って特色を競い合うと、さらに特色のある教育ができます。ですから、積極的にやっていただきたいと思います。特に、高校入試がなく受験勉強をする必要がありませんので、その分特色を出しながらやっていただけたらと思います。
9. ただ、高校入試は高校入試で1つの役割があります。それは、小学校と中学校で学習した内容を受験勉強を通じてもう一度やり直すことで自分なりに知識を定着させ、それをテストでよい点数が取れるまで磨き上げることができるということです。このように、日本の教育のレベルを上げるという点で、高校入試には素晴らしい意味があります。

このような高校入試の意味を考慮したとしても、高校入試のない中高一貫校で受験に向けるエネルギーをほかのことに注ぎ込むのはよいことだと思います。ですから、中学校から高校へ進むときの選択肢の1つとして中高一貫校を活用するのも素晴らしいと思います。
10. 高校へ進むときの選択肢には、高等専門学校もあります。栃木県には小山市に国立工業高等専門学校があるだけですが、これをもう少し増やしていただければと思っています。県内の工業高校、あるいは商業高校と短期大学を一続きにして、高校3年間、短期大学2年間の計5年間の高等専門学校をサービス産業で創っていただくのもよいと思います。また、農業関係の5年間の高等専門学校、看護系の高等専門学校も必要ですね。これからは大学入試をやらなくても大学や短期大学に進める形の高等専門学校ももっともっと広めたほうがよいと思います。
11. 選択肢がたくさんあればあるほど人生は豊かになりますので、中高一貫校の開校は素晴らしい取り組みだと思います。皆さんはどのようにお考えでしょうか。